



ROTARY INTERNATIONAL

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



OFFICE OF GOVERNOR OF DISTRICT NO. 360
TARO KAMINO
c/o CHUBU GAS CO., LTD.
100 SHIRAKAWA-CHO, TOYOHASHI, AICHI, JAPAN



No. 14 (June 30, 1966)

昭和41年6月30日

第360区各ロータリークラブ

会長並びに幹事殿

国際ロータリー第360区ガバナー

神 野 太 郎

明日に培かおう



Build for the Future

私たちの年度を終る——感謝と所感

Farewell to "Our Year"—Appreciations and Reminiscences

感謝のことは

地区内各クラブの会長、幹事各位を初め会員皆様
私たちの年（1965～66）を終るに当りまして、この1年間私にお与え下さいました暖かい友情とご協力に対し、心から感謝申し上げます。
今、この1年間を顧みますと、数々の思い出や感激が、走馬灯のように去来します。一生懸命任務を果たすために努力して参ったつもりですが、私の微力不徳、怠慢、我儘のために、ずいぶんご不満やご迷惑をおかけしたと恐縮し、反省しております。どうぞご寛恕の程お願い申し上げます。

またこの1年間に、九鬼、安野両バストガバナーには、ガバナー補佐というつかみどころのない役割をお引受け頂きまして、私のためにご協力賜りましたことも感謝にたえないところであります。更にバストガバナーの皆様が、地区内の諸行事をこぞってお助け下さったことも感銘するところであります。

各分区代理の方々が、貴重な時間と労力をお割き

下さって、ご熱心に地区内各クラブとガバナーとの連絡に当って頂きましたことは、ガバナーの任務遂行上大きな助けとなりました。まことに有難うございました。

そのほか、本年は地区内の各種委員会が新しい任務に対し、夫々活発な活動を展開して頂きましたことも忘れられません。委員各位はもとより、委員の所属されるクラブ会長の皆様にも厚くお礼申し上げます。

所感

この1年をふりかえりまして、思いつくまゝに所感の一部をご披露申し上げてみたいと思います。どうかご遠慮なくご批判を頂きたいと存じます。

(1)公式訪問について 年度初め、公式訪問は出来るだけ正規の方法で、1クラブに2日間、出来るだけ時間をかけてゆっくり会員各位とお話し合いの機会を持ちたいと思っていました。また、出来れば職業奉仕や社会奉仕活動の実地を見学させて頂く時間も欲しいと思っていました。ところが多数のクラブが広汎な地域に散在するため、例会の重複と交通条件の調整などがむずかしく、所期の思いとはだいぶ異なったスケジュールになりました。その上、自称“ロータリーのご用聞き”も長時間に及ぶ“ご用聞

かせ”になったりして、ご迷惑をおかけしたことも一再ならず、まことに汗顔の至りでした。

併しながら、私にとりましてこの1カ年は、得難い数々の体験を重ね、多数のロータリアンと知己ができて、恐らく私の生涯の中で再び巡って来ない最良の年であったと信じています。しかも、どのクラブにもダイヤモンド・ロータリアンが居られ、ロータリーの実践をご推進になっておられる事実を発見し、ロータリー活動の未来への希望を確信し得たことは何よりの喜びでありました。

同時に、私自身自己の未熟を反省すると共に、数多くの教訓を受けましたことは、自称“ご用聞き”の冥利につきること、感謝しております。

(2)ガバナースレターについて ご承知の通りガバナースレターは、ガバナーから各クラブの会長並びに幹事宛に毎月お送りする書翰であります。云ってみれば、ガバナーと会長幹事を結ぶ重要なパイプであるともいえます。書く方も読む方も共に忙しい時間を割いてパイプを通して常に円滑な結びつきが出来ていなければならぬものと思います。然るに、私のガバナースレターは徒らに饒舌が多く、記録や資料やその他の雑物が入り交ってパイプの輸送が非能率的になったのではないかと反省しています。岡田次期ガバナーには、私の行過ぎをお改め頂いて、大切なエキスを精選され、書翰としての重要な役割をご検討頂くように懇請しておきました。したがって、次年度会長幹事はガバナースレターをご自分宛の手紙であるとお考え下さって、必ずご精読下さるよう切にお願い致します。大切な事項、重要な知らせは、必ず会員一同の注意を喚起することも、お忘れにならぬよう併せてお願い致します。

(3)伝達式と記念式について 本年度数多くの認承状伝達式や各種の記念式に参列して、従来のように右へならえといった同一の規格にはまった形式的模倣的なものが次第に影をひそめて来ました。ロータリーの基本的精神を基礎とした独自の発意や工夫によって、夫々特色のある方法を実行されるようになりましたことは、ご同慶にたえないところであります。

特に、認承状伝達式はそのクラブにとっては最も重要な行事であると共に、国際的に定められた公式のロータリー行事であります。従って、正式に定められた規準によって、ロータリーの公式行事として筋の通った方式を採用されることが望ましいと思っ

ております。最近では朝日R.C.の伝達式典の運び方またその準備や設営が地域社会の支持を背景に、ロータリアンとその関係者のみで遂行されたことは、最も模範的な方法ではないかと感銘しております。式典の運び方はもとより、参加者の接待についての心構えと実行方法、披露宴のあり方など、クラブ所在の郷土の特色をその地域の出来得る限界の中で、善意と知恵を集めて行うことがロータリー行事の神髄といたしたいものであります。

各種の記念行事は公式の行事ではありませんので、夫々クラブ独自のお考え方によって自由な形式をご採用になってもよいのではないかと思います。しかし、非公式といってもロータリーの行事であることには変わりありません。奉仕と友情の上に立って、夫々のクラブの立場や考え方を十分ご検討の上で、ロータリー行事らしい方法をお決め頂くことが大切であると思います。

(4)“知り合いを広めること”について 世界のロータリークラブは1本のくさりでつながり、各クラブはそのつながりの一つ一つの輪であるといわれています。またその輪は一人一人のクラブ会員のつながりで出来ているともいえます。したがって、クラブ内の会員は相互の理解と友情で結びつき、またそれが奉仕という一つの心のつながりで結びついていると云えます。しかし、日本だけでも約720のクラブがあり、約3万4千の会員があります。少くとも私たち日本国内のクラブ間の交流、クラブ会員間の交友をめることに今後あらゆる機会を通じて努力しなければならないと思います。他クラブを訪門した場合、大会や各種のロータリー行事に参加した場合、必ず未知の人と知り合いになる、新しい知り合いをつくるという努力をしたいものと思います。同じ理想を持つロータリアン同志は、身分の高下、職業の相違思想のちがいを超越して友情を深める機会が、いつでも与えられています。これはロータリアンの特権であり、どんな団体に於ても得られないロータリーならではの特権とも云えます。私どもの人生にそれがどんな大きな幸せと利益を齎すか測り知れぬものがあります。私はこの1年間に数えきれぬ程の未知の会員と知り合いました。そしてその幸せと有難さをひしひしと身に感じているものであります。

(5)ロータリーの拡大について 安野直前ガバナーよりお引継した地区分割の問題も、本年はパイロットプロジェクトという変則的な実験地区に指定を

受けることとなりました。しかし、遠からずこれは解決しなければならない問題でありますので、R.I. に対しては絶えず実状の不合理性を訴えてまいりました。同時に地区内クラブ数を90以上（分割条件の最低クラブ数と推定）に拡大するために、地区内の拡大可能都市の調査と、その近接クラブの協力を求めました。お陰で、現在までに年度内に承認されたクラブ数9、承認申請中のクラブ数2、（仮クラブ結成済み）、特別代表委嘱クラブ数5、が出来ました。6月末地区内の状況は次の通りです。

R.I. 加盟クラブ	87クラブ
" " 承認手続中	2 " （多治見ad, 戸倉上山田）
地域分割申請中	1 " （飯田）
特別代表委嘱	4 " （長野、四日市、高岡、伊勢）
計	94クラブ

(6)新年度のパイロットプロジェクトについて

次年度は本年度に引続いて、パイロットプロジェクト地区に指定されましたことは既にお知らせしました。次年度のガバナー補佐(Assistance of District Governor)は、バストガバナー以外から選定されることとなり、次のように決定されました。

山中義一郎君（岐阜R.C.、シニアアクティブ、県立岐阜病院院長）
近藤友右衛門君（名古屋R.C.、信友聯社長）

(7)新設の拡大委員会について 次年度から地区拡大委員会が新設されることになりました。この委員会は、地区内に於ける新クラブ結成準備と実施についてのご協力、現在結成の途中にある新クラブ、前年度中に結成された新クラブのご相談相手、その他クラブ結成等について地区ガバナーのご指図によって活動する委員会であります。私は直前バストガバナーとしてこの委員会委員長をお引受け申し上げることになりました。この委員会には現在の直前バストガバナー安野譲次君にもご参加ご協力を頂くことになり、たいへん力強く思っております。また次年度1ヵ年間この役目を通じて、地区内の各クラブに引続いて何かとご厄介になること、存じます。よろしくお願い申し上げます。

(8)ポール・P・ハリス著 米山梅吉氏訳“ロータリーの理想と友愛と精神”の発刊について 待望の上記文献の発刊について“ロータリーの友”委員会でも正式に採り上げられ、いよいよ再刊される機運になって来ました。もし発刊が実現しましたら、一人でも多くのロータリアンに座右の聖典としてロータリー精神の神髄にふれて頂きたいと願っております。

御苦勞様ガバナー

Fare You well Governor! Many Thanks!

直前ガバナー 安野 譲 次

7月1日の午前0時を時計が告げるとガバナーと云う肩書きが神野さんから岡田さんに移るのである。

昨年6月30日の夕我々1965-66年度のガバナー等は皆で東京会館に集ってお互いに健康でその任期を終った事を感謝し、そして祝い合ったものである。

1年という時間は過ぎてしまえば短い時間である。神野さんも恐らく只今となってあゝすればよかったこうもすればよかった、とお思いの事と思う。然し私はこの一年の神野さんの仕事振りを見て本当に感心して居るのである。実の所、神野さんが腰にギブスを付けて公式訪問に歩いて居られるのを見て何度「大丈夫かな?」と思ったか分らないのである。

おまけに 360地区は世界に前例のないパイロットプロジェクト地区と云う、有難いような、有難くないような地区に指定されてしまったのである。九鬼寿園君と私がアシスタントとなったもの、遂に神野さんのご要望に充分お応へする事が出来ないうちに一年の時が過ぎてしまった。



特に今年度のこの地区のエキステンションの素晴らしさは目を見張るものがある事は既に皆様ご承知の通り。遂に長野県下では適当な例会場がないので新しく例会場を会員等が新築したと云う新クラブ迄現われたのである。

神野さんのお得意は社会開発問題である。この特技がロータリーと云う一つの活動の場を得たのであるから素晴らしい拡大振りを見せるのも当然かも知れない。然し本当の開発はこの生みの親の真意を新クラブが理解して立派なクラブとして育って行くかどうかにかかって来る問題である。新クラブの方々よ、どうぞ神野ガバナーのあの素晴らしい情熱に応へる様な活動を今年は見せて頂き度いし、オールドクラブも新クラブに遅れない様な新鮮さを示して頂き度い。そして 360地区の歴史に又輝かしい一頁が綴られる事を私は心から喜びそして期待して居るのである。

2つのクラブ誕生

Two New Clubs Admitted to R.I.

かねてより仮クラブとして発足していた、津南、

常滑の両クラブが6月11日付で国際ロータリーへ加盟承認されました。これで当地区は87クラブとなりました。(尚、両クラブの概要は、前回6月15日号をご参照下さい。)

こゝに両新クラブの会長さんのメッセージをお伝えします。

常滑ロータリークラブ

会長 栗田 四郎

謹しんで御挨拶申し上げます。常滑ロータリークラブは、1966年5月30日創立総会開催いたし24名の会員を以って仮クラブとして発足いたしました。

ガバナー神野太郎殿、特別代表新美保三郎君の絶大なる御指導、御援助と兄クラブである半田ロータリークラブの心からなる御友情のもとに6月11日付にて国際ロータリー本部の御認承をいたゞくことが出来ました。常滑クラブ員一同深く感謝申し上げますと共に今後ロータリーの拡大、発展を期し奉仕の理想に精進いたしますので尚一層の全ロータリアン各位の御指導、御鞭撻を御願ひ申し上げます。

津南ロータリークラブ

会長 川喜田 俊二

三重県の主都津市に昭和二十五年二月津ロータリークラブが誕生して、もう十六年も経過して居るのに一つのクラブより無いと云ふ事はおかしいではないかと云う声が数年前より聞かれる様になった折しも折りガバナー神野太郎氏の熱心な御努力を得て私共は去る五月二十四日から津市橋南地区と一志郡全域とを区域として仮クラブで発足致しましたが、六月十一日国際ロータリークラブより正式加盟の承認を受けました。

赤ん坊同然の生れたてのクラブです。会員数は、廿二名でその構成は津R.C.から三名の移籍会員と当地区J.C.を主体としたものです。親クラブよりはるかに若年層を以て組織されて居る丈に活気のある熱心なクラブに成るものと期待して居ります。

会員は今後務めて他クラブに出席し、よくロータリーの本質を研修する事によりクラブ内の充実を計り会員各位と共に一層理解と友愛の度を深め奉仕の理想に徹し、良きロータリアンとなる事を期する覚悟で御座居ます。何うか全国のロータリークラブの皆様此の若き未熟な吾々を立派なクラブに育てて戴く様今後格別の御支援、御指導を賜ります様心から御願ひ申し上げます。

2つのR.I. 加盟認承状伝達式

Two R.I. Charter Presentation Ceremonies Held

豊橋南ロータリークラブ

豊橋南ロータリークラブは、R.I.加盟認承後僅か1ヵ月間の準備で伝達式を挙行されました。この間たいへんご苦勞があったこと、推察します。しかし、全会員の献身的な奉仕とご苦勞が実って、友愛の広場の設営、会員の職場の奉仕活動など、新しい試みを織りませ、立派に終了されましたことはご同慶に耐えません。安野バスターガバナーから当日の手記をお寄せ下さいましたので、下記に掲載させて頂きます。

豊橋南R.C.認承状伝達式

バスターガバナー 安野 謙次

6月21日豊橋南R.C.の認承状伝達式が市の体育館で行われました。ガバナーのホームクラブである豊橋R.C.がスポンサーです。神野ガバナーの持論である「ロータリーの会合は簡素でスマートでなければならない、それにはアイデアと良識が必要である。」という理論がどんな形で実現されるのか私は大きな期待と小さな意地悪さを抱いて豊橋の駅に降りたのでした。この日は梅雨の最中というのに真夏の様な太陽が照り(不思議な事に神野ガバナーの認承状伝達式は必ず晴天になるのです。)豊橋の街は文字通り若葉の緑に包まれて居りました。

さて会場では会員や御家族が汗を流しての御接待。定時刻に式典は山口特別代表の司会によって始まり形の如く厳粛にそして滞りなく行われ参加者は48クラブから528名と云う盛会でした。

式後豊川稲荷に参詣をして会場に戻ると早速披露の宴が始まるのですが、先づ祝宴に移る前に会員の御家族による素晴らしい観世流の仕舞いと藤ノ花女子高校の女生徒の「ふるさとの歌」と「花の町」の合唱は神野ガバナー御自身の演出と共にこの市の文化の水準の高さを示すものでした。



豊橋南R.C.認承状伝達式会場

(参 考 資 料) 151地区ガバナースタインベルグ氏よりの挨拶

Der Delegation Nr. 360. Distrikts RJ in Japan/Japan
 Prof. Dr. Kazuo Hotta
 Rotary Club Nagoya
 Mein sardischer Kollege Chef für den Verbindungs in Japan
 zum 151. Distrikt RJ in Deutschland
 sowie den Rotariern Eiichi Hasegawa und Ichiro Yoshida

Danke ich sehr herzlich für den Besuch in Deutschland
 - beginnend in Berlin am 19. V. 1966 -
 als Ausdruck weiter, wobei icher Rotarischer Freundschaft,
 die uns miteinander verbindet,

Zugleich mit der Bitte,
 Governor Taro Kuniyasu und allen japanischen Freunden
 unsere Grüße zu übermitteln, mit der Zuversicherung,
 auch in Zukunft unsere schöne rotarische Gemeinschaft
 zu festigen und zu vertiefen.

B. D. Berlin
 20. Mai 1966.

Wilhelm Steinberg, Dinslaken
 Governor Distrikt 151. RJ



中部日本の第360地区の親善使節 西ドイツの第151地区に対する連絡委員長
 堀 田 一 雄 博士(名古屋R.C.)

ロータリアン並びにロータリアン長谷川栄一君および吉田市郎君に申し上げます。
 両地区の連絡を緊密にする親善のため、西ドイツの訪問(1966.V.19.開始された)
 に対して心から厚く御礼申し上げます。将来両地区の結びつきを更に深くするよう
 神野ガバナーおよび中部日本の全ロータリアンによりしく御伝へ下さい。
 御願申します。

1966. V. 20

伯林で記す。 第151地区ガバナー ウィルヘルム・スタインベルグ(デュッセルドルフ)

1965~66年の 360地区内拡大状況

クラブ名	スポンサー ク ラ ブ	特別代表	特 別 代 表 委 嘱 年 月 日	創立総会日	会員数	例会日	承 認 日	認 承 状 伝 達 式
岐阜長良川	岐阜 阜山	杉山新七	40:8:5	40:9:27	21	土	41:1:8	41:6:5
高山	高 津	平田誠二	40:9:27	41:1:15	23	金	41:2:6	41:5:13
津南	豊 橋	今中義順	41:2:6	41:5:24	22	火	41:6:11	
豊橋	豊 橋	山口唯次	41:2:19	41:4:4	21	月	41:5:12	41:6:21
名古屋港	名古屋西	小田切貞夫	41:2:25	41:4:21	26	金	41:5:12	
多治見	多治見	加藤大吉	41:2:25	41:6:13	23	木		
珠洲	多治見	土師正章	41:3:1	41:5:11	27	木	41:5:25	41:10:23
戸倉上山田	上 田	宮坂陽	41:3:10	41:6:9	23	木		
常滑	半 田	新美保三	41:4:13	41:5:30	24	金	41:6:11	
朝日	魚 津	金川四郎	40:12:13	41:2:5	26	土	41:3:4	41:6:12
飯田	駒 ケ	芦部啓太郎	40:	41:2:10	23	火	41:3:4	
長野	長 野	黒沢三郎	40:					
四日市	四 日 市	熊沢龍太郎	41:1:20					
飯田	飯 田	原 亨二	41:5:23					
高岡	高 岡	野村太三郎	41:6:17					
伊勢	伊 勢	久保田義三	41:6:22					

(参 考 資 料)

ポールP. ハリス著ディスロータリアンエージ
(THIS ROTARIAN AGE) 米山梅吉氏訳 邦題「ロ
ータリーの理想と友愛」より抜粋

ロータリーが個人を向上せしめる方法の一つは、彼の内に童心を保存せしめることである。およそ善良なる人間の胸底を深くさぐればそこには常に必ず童心がある。少年の人生を眺める目には汚れない、邪悪と僻見がない。有るものは強い熱意と親しみとで、総てはわれらの望み求める資質である。歳月の移り行くと共に童心は影を潜める。我が童心去れりと告白せざるを得ない人は悲しむべきである。しかし年令は見方によっては、戸籍面の数字に関する問題はなくして精神上の状態に関する問題である。理念鈍り情熱衰うるの時、われらは老の坂にあることを知らざるべからず、背後に積み重ねる歳月の数は別問題で、その頭脳に弾力性を止むる間、他人の友情に反応し得る精神力を維持する間、人は決して老い朽ちぬであろう。人を発展せしめ永く童心に生かさんとするものこれ則ちロータリーである。

ロータリーは決して会員の社会的、宗教的ないし民族的統一を期待するものではない。かかる企図は奉仕でなくして反って非奉仕のことである。社会的、宗教的、民族的相異の抹消を計ることは、文明からその最も有効なる進歩の一方途を奪わんとするもの

である。現在の文明社会における各個の社会的、宗教的、民族的集団は、おのおのその所有する理論を適用して以て銘々が正否を検証すべき地盤をなしているものであって、この結果文明はますます内容を豊富にし、思想は愈々水準を高めて行くのである。仮りにヨーロッパ各国民の多彩多様な生活状態が、同一色に塗りつぶされるものとせば如何にも悲惨であり、そこに旅行する興味もないことであろう。ただ一つの種類、ただ一色の花ばかりなる庭園に誰が心を引かれるであろうか。変化は人生の香味であるとは真実のことである。同一とは単調の異名で憂うつなものでもある。ロータリーは社会上の地位や宗教上の信仰や、種族または国籍等を異にする人々を一堂に糾合して相互理解の機縁を作り、そこにますます深い親善と友愛の関係を育成せんと企図するものに外ならないのである。ロータリーの職能は何処の国においても同一というものではない。気候の相違は往々人情の相違となる。晴朗な天気には人の心は軽く時には狂乱浮動する。陰うつなる空の下では沈思黙考総て控え目となる。クリスチャン・ネームの使用が友情の前提となる国もあれば、また苗字をて呼ぶことが親密を意味する国もある。かゝる事柄はロータリーの真髄に触れた問題ではない。ロータリーの真髄に属するものは友愛そのものであって、要はその友愛の伸長に最も便宜なる習慣は何かと云うにある。

朝日ロータリークラブ

ロータリーの樹

小沢 浩作歌
黒坂富治作曲

(1) のびよ ロータリーの樹

大空高く 我等のめざす
奉仕の理想が 世界の空に
こだまする迄
梢と共に たくましくのびよ。

(2) 茂れよ ロータリーの樹

空を蔽って 我等の願う
善意と平和が 地球の果迄
達する程に
枝葉と共に 拡がれ茂れ。

(3) 伝えよ ロータリーの樹

次代の者に ここに集える
親しき友の あふれる思ひと
奉仕の心
双樹と共に 永久に伝えよ。

次のアトラクションは会員の会社の従業員諸君による大漁節や郷土舞踊でしたが社長の為又お客様を慰めるため深夜迄練習して出演されたとのこと。矢張り友情出演をされた愛知大学バンドの諸君と共に学生運動や労資の問題の厳しい現在に一服の清涼剤とでも云い度い心温まるプログラムでした。

結局私の抱いて居た「小さな意地悪」は全面撤回をしなければならなくなったのです。簡素にそしてスマートに…と云うガバナーの言葉は矢張り現実の姿となって現われたのです。私はただこの素晴らしいチャーターナイトを支へた好意と友情が永久にこのクラブのバックボーンであって欲しいと願うのです。この市を取りまく緑の木々の様に。

朝日ロータリークラブ国際ロータリー 加盟認承状伝達式

6月12日、富山県朝日ロータリークラブ認承状伝達式が、泊中学校体育館で開催されました。伝達式は特別代表金川四郎君(魚津R.C.)司会によって行われましたが、チャーター伝達式典の運び方として模範的なものであったと敬服致しました。式典後エクスカーションに移り、バスを連ねてのスカイラインコースから宮崎海岸へ出ました。初夏の陽光と日本海の波がしらを舞台にたらの涙汁、ひすいの原石拾いなど参加者はみんなこのひととき童心に帰って、ピクニックの楽しさを満喫しました。また、この日を記念して泊中学校庭に二本のヒマラヤ杉が植樹されました。このあと、小沢クラブ幹事自作の記念植樹賛歌“ロータリーの樹”が泊高校コーラスグループによって披露されましたが、永く地域青少年に及ぼす感化を考え、すばらしい感動を受けました。披露宴に先立って特別来賓として出席された地元出身の有名芸術家が壇上に並んで紹介されたことも印象的な一コマでした。続いて郷土自慢の芸能が披露され、午後5時参会者約200名夫々深い感銘と印象を心に刻んで散会しました。

朝日町は富山県と新潟県の県境にある泊町を中心として出来た小さな町ですが、永く培われたすぐれた伝統がロータリーの式典と披露を通じて目を見はるような美事な企画になって現われたものと思います。しかも、この郷土色一筋に集結された企画の裏付もなった会員と家族の総力をあげての奉仕、ボーイスカウト、ユネスコ青年グループを初め郷土の人々の献身的な協力が、参会者の胸を打ったものと思います。会場のしつらえから装飾まで一切他人の手を

煩わさず、会員自らの労力奉仕と所持品の持ち寄りで出来上がった苦心を承わり、すでに立派なロータリー活動の実践を会員一人一人が体得しておられることに感嘆の声をあげた次第であります。



朝日R.C.認承状伝達式会場
泊中学校々庭え記念植樹

諏訪ロータリークラブ10周年

Suwa R.C. 10th Anniversary

諏訪ロータリークラブ10周年を祝う記念式典は6月21日午後0時30分から県下のロータリアンとその家族250名が参加して、諏訪市湖畔の北沢会館で盛大に開かれた。

式は、金子副会長の開式の辞、岩波会長の挨拶、物故会員に黙禱を捧げたのち、長期出席者会員の夫人7名に表彰状・記念品を贈り、次いで寺島式典委員長から諏訪R.C.10年の歩みと記念事業が発表され来賓祝辞祝電披露などがあって式を閉じた。

続いて披露宴が盛大に行われ、午後4時すぎ散会した。

10周年の記念事業には育英会設立がある。たまたま、初代会長藤森伝一氏が昨年11月に勲五等旭日章の栄に輝いたのを機に、諏訪R.C.10周年記念事業として育英会を設立して欲しいと1千万円の寄付の申し出があり、藤森氏は不幸にして今年2月逝去されたが、その遺志がいよいよ実現することになった。尚、全会員が執筆した「10年の歩み」を発刊した。

(諏訪R.C.よりの報告)

1966年岐阜の年次大会には挙って参加 しましょう。

Let's Rally to 1966 District Annual Conference Held at Gifu Special Representatives Appointed

来る10月8日から10日にわたって岐阜市に於て開催される本年度第360地区年次大会には、地区内全クラブから出来るだけ多数の会員家族が参加しましょう。地区年次大会は年に一度、全地区の会員家族が知り合いをひろめ、奉仕と友情の雰囲気を経験する唯一の機会です。特に新クラブや新会員は全員出席というご熱意を切望します。主催クラブの岐阜南ロータリークラブを中心として、岐阜県内各R.C.が総力をあげて、参加者の各位にロータリーの集いの醍醐味をどうして味って頂こうか、奉仕と友情の機会をどうして有効に活用して頂こうかと企画と準備にたいへんご苦労を付けておられます。

○ソングリーダーは藤山一郎君（東京西R.C.）と決定しました。

○記念講演者は今東光氏と決定しました。

○音楽は、岐阜県豊学校生徒による鼓笛隊が出ます。昨秋両陛下ご来県の際、この鼓笛隊をお聴きになり皇后陛下から次のような御歌を賜りました。

“きく耳をもたぬ人らの鼓笛隊、

むねふたかる、おもひこそすれ”

○余興①驚見房子さん（岐阜南R.C.会員夫人）原作
“水映緑簾火”を桐竹紋十郎、野沢喜左エ門（両各共無形文化財）に出演交渉中であります。

②古太尽 郡上踊など岐阜県民謡の数々の披露を予定しています。

○友愛の家

- ・バナー交換・同業ロータリアン親睦の集い
- ・各産物ショッピング・名物模擬店
- ・アトラクション(A)鶴飼の披露 (B)長良川音頭等

特別代表を委嘱

Special Representatives for Extension Appointed

富山県高岡市と三重県伊勢市に夫々アディショナルクラブを設立することになり、次のように特別代表をご委嘱いたしました。

高岡アディショナルクラブ
特別代表 野村太三次郎君

スポンサークラブ 高岡R.C.

伊勢アディショナルクラブ
特別代表 久保田義三君

スポンサークラブ 伊勢R.C.

お詫び

前号の公式訪問雑感の記事中、珠洲R.C.の認承状伝達式が11月23日とあるのを10月23日に訂正させて頂きます。

新ガバナー事務所の開設

New Governor Opened Office

7月1日より岡田良介ガバナー事務所が下記の如く開設されます。

第360地区 ガバナー岡田良介

石川県金沢市西町1番丁18

金沢商工会議所内 電話 63局 1151番

ジョージア奨学生決定

Georgia Scholarship Student Decided

米国ジョージア州奨学資金財団から、このほど当地区推せんの宮島伊津子さんを奨学生として招へいする旨通知がまいりました。宮島さん(名古屋R.C.推せん)は、本年9月から1年間、ジョージア州内の大学に留学するため、来る8月31日羽田を出発する予定です。

宮島さんは、昭和39年岐阜市立女子短期大学英文学科を卒業され同年朝日機械株式会社に入社、又そのかわり好きな英会話の勉強に励んでおられました。明るく活動的なご性格は、勉学はもとより、両国間の親善にもおおいに役立って下さることでしょう。

交換学生を決定

Exchange Student Decided

2.3月号ガバナー月信で発表しましたオーストラリア(第265地区)への留学生の選考試験を6月14日、名古屋観光ホテルで開催しました。その結果、各務原R.C.推せんの山田真理さんを第265地区へ派遣することに決定しました。

なお、フィリッピン(第380地区)への交換学生は選考の上、本年は見送りと決定しました。

告知板

Message Board

例会場変更

軽井沢R.C. 軽井沢万平ホテル(7・8月の2ヶ月間臨時に変更)

事務所変更

辰野R.C. 露原荘内 長野県上伊那郡辰野町大字平出183
TEL 辰野 29

下呂R.C. 伊佐地旅館内 岐阜県益田郡下呂町湯之島544
TEL 2005

事務所・例会場の地番変更

伊勢R.C. 伊勢商工会議所 伊勢市岩瀬1丁目7番17号

Rotary International 国際ロータリー第360区ガバナー

神 野 太 郎

豊橋市白河町100 中部瓦斯株式会社内 電話(2)4113(2)5382
電 略 カミノトヨハシ 取引銀行 東海銀行豊橋支店

愛知県会長幹事懇談会開催

All Presidents and Secretaries Meeting in Aichi Prefecture Convened

会長幹事懇談会

愛知分區

時 6月25日

所 愛知県蒲郡市蒲郡ホテル並に常磐館

ホスト 蒲郡R.C.

参加クラブ 29クラブ 71名

特別参加 ガバナー、荒川地区資金委員、加藤尾張
地区分區代理、山本三河地区分區代理

これで当地区内県単位の各会長幹事懇談会を全部終了しました。この会合は本年度末でもあり、新旧会長幹事の参加者もありました。一ヶ年総決算とも言ふべき懇談会から引続いて忘年会を思わせる雰囲気懇談会が開かれ、遂にガバナー慰労会に変わり、和気合い合いの裡に午後から夜にかけて楽しいつどいとなりました。われらの年の最後を飾る行事にふさわしい催しになりましたことを、ホスト蒲郡クラブを初め、参加各クラブ各位のご厚意に対して深く感謝致します。

西ドイツ151地区便り（その9）

Information About Matched Dist. 151 West Germany (Part 9)

西ドイツ・マッチド地区連絡委員

堀 田 一 雄 (名古屋R.C.)

此号で西ドイツ・マッチド地区との1ヶ年の連絡の総まとめをして次年度への反省としたいと存じます。

就いては次の3つに分けて書きます。

1. 経過
2. ドイツ・ロータリーの特長
3. 結論

1.) 経過

これを亦2項に分けて掲載します。

a) ガバナース・レターに出たまゝ、

R.I.で151区と360区とがマッチすることに決定されて2、3ヶ月後昨年10月号に両地区にそれぞれ連絡委員がおかれたことが報告されました。即ち151区ではLangenさんが連絡委員に、360区では不肖堀田が連絡委員になることが報じられています。

昨年11月号に西ドイツ便りその1が掲載され西ドイツと151区の説明が出ています。

昨年12月号に西ドイツ便りその2が掲載されて151区の37のR.C.が紹介されています。そこでTestとして両地区の数R.C.の交際が初められました。

本年1月号に西ドイツ便りその3が掲載されて先方から送られて来た印刷物が報告され151区の実情が報告されました。尚両地区のクリスマス・カードの交換が報じられました。

本年2月号に西ドイツ便りその4が掲載され先方から歳末同情金が送られて来たことが知らされました。尚Governor Steinberg スタインベルグ・ガバナーのご病気の模様が報告されました。

本年3月号に西ドイツ便りその5が掲載され先方から来た歳末同情金の仕末やマッチド地区よりの訪問者につき詳細報告されました。尚歳末同情金を決定した相談会に出席した人々の氏名が報告されています。

尚本号の附録として151区のR.C.の一覧表が掲載されました。

本年4月号に至って西ドイツ便りその6が掲載され私が西ドイツに親善使節として派遣される挨拶が報ぜられました。

本年5月号に西ドイツ便りその7が掲載され私が親善使節として西ドイツ国に行くドイツでの反響が報ぜられました。

本年6月号に私が帰国してからその報告が出ています。

b) 総括

1965～6年間に我地区たる360地区と西ドイツ・マッチド地区たる151地区とは連絡委員をおくことによって両地区の連絡は非常によい状態となりました。

歳末になって151地区から360地区に歳末同情金が贈られて来ました。

その結果親善使節を360地区から151地区に送って両地区間の結び付きは益々緊密の度が加えられました。

2.) ドイツ・ロータリーの特長

西ドイツのロータリーは量的には世界第8位であります。質的には尊敬すべきものありと存じます。ロータリアンの数にてもR.C.の数でも余り大ではありませんが会員相互の親睦や熱意は大したものあります。

3.) 結論

以上の理由で西ドイツのマッチド地区のR.C.とマッチすることは学ぶべきところが甚だ多いと考へます。特に同じ職業の方々が個人的連絡されるなれば得るところ極めて大ならんと信じます。

**ポール、P. ハリス賞を受賞した豊田
R. C. の国際親善活動**

**International Service Activities of Toyota
R.C. Won Paul Harris Awards**

さきに選考委員会から R. I. 事務総長宛推薦中の当地区ポール、P. ハリス賞計画参加クラブ豊田ロータリークラブに対する受賞が決定し、賞状が渡米中の岡田次期ガバナーに手渡されました。賞状の授与は6月28日犬山市で開かれる当地区協議会に於て行われました。豊田 R. C. に心からお喜びを申し上げます。

豊田 R. C. 提出の計画内容の一部を抜粋して、授賞対照になった「ロータリークラブとインターアクトクラブの合同親善」と題する計画の概要を下記にご紹介してご参考にご供します。

豊田 R. C. 提出の計画概要

ロータリークラブとインターアクトクラブの合同国際親善（「われわれはこれによって若き世代にロータリー精神を植えつけることができる」）

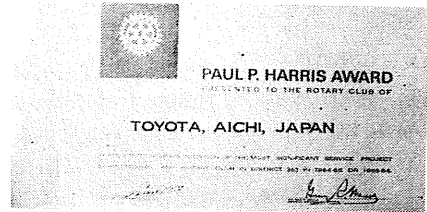
豊田ロータリークラブ

わが R. C. は 1965 年 1 月にインターアクトクラブを国立豊田高等工業専門学校の高校生の担当するクラスに設立した。われわれは R. C. と I. A. C. の協力によって国際理解を深めてゆくよう計画した。

【意義と経過】

(1) ① R. C. の国際奉仕活動は、I. A. C. の協力によって活発となった。② I. A. C. は R. C. の国際親善に協力することによって国際的視野を広め、ロータリーの国際奉仕の理念を学ぶであろう。③ それのみならず I. A. C. の学生は、例会や社会奉仕の事業の外に、ロータリアンの家庭に招待されることによって知らず知らずのうちにロータリー精神を学びとることであろう。

(2) この計画は姉妹都市デトロイト市が豊田市を訪問する予定が発表された 1965 年の 4 月から始められた。この計画は今後豊田 R. C. の永続事業として推進されるであろう。本計画に参加した主な人々は、R. C. 役員と国際親善委員、社会奉仕委員の一部と I. A. C. 委員合計 18 名である。デ市交換学生 4 名の歓迎パーティーと R. C.、I. A. C. 交換学生三者合同ミーティングには、R. C. 会員の大多数が出席した。また、R. C. の全員協議会においてもこの計画が強調され、全会員の賛成を得た。交換学生はロータリアンの家庭に民宿し、交換学生との親善の機会を与えるため、I. A.



ポール P. ハリス賞賞状

C. の学生を自宅に招待した。これによって全ロータリアンがその計画に参加することになった。

(3) 本計画の結果、I. A. C. とその指導教員の協力によって R. C. の国際奉仕活動は一段と活発となった。また、I. A. C. の学生達は、ロータリアンとの交際を楽しみにしているので I. A. C. の拡大強化にも役立っている。また米国カロライナ州ストーンビル R. C. よりの 8 mm 映画と会長メッセージの答札として、I. A. C. 学生の協力を得て豊田市の風物、ロータリアンの家庭、I. A. C. をスライド 8 mm で撮影して送るため目下製作中である。

【今後の計画】青少年の交換や通信、プログラム出版物などを各国の R. C. と交換するため I. A. C. の協力を得て R. C. 間、ロータリアン同志の交換を計る。I. A. C. の交換学生を送る。

【ロータリー精神を若き世代に】I. A. C. の学生と、献血、校庭の緑化、I. A. C. の学生を幾度もロータリアンの自宅に招待して話合っている。そのたびごとにロータリアンは共に人生を語り、4 つのテストによって真の人生の意義を発見した体験を悟った。これは学生に大きな感銘を与えたようである。この経験からわれわれは次のことを確信する。

われわれロータリアンはクラブに於てロータリー精神を学んだ。個人の生活の中に、とくに職業の中にこれを生かすことによって社会に生きる意義と喜びを悟った。この感激を体験したわれわれが、青少年の中にロータリー精神を植えつけるならば、青少年の将来を幸福にするばかりでなく、彼等は彼等が活躍する次の時代の社会を幸福にする原動力になるであろう。I. A. C. の学生がロータリアンの家庭に招待されるということは、I. A. C. の例会や社会奉仕の仕事の中だけでは得られない収穫を得るであろう。

【結論】この計画は R. C. と I. A. C. の両者の熱意と理解によって容易に実行しうるものであるから、永くわが R. C. の最も意義深い計画として持続されるであろう。この計画を永続的に拡大して実行してゆくならば国際親善に役立つばかりでなく、学生諸君にはロータリー精神を彼等の生活の中に植付けることができると思ふ。